



一般社団法人
日本第三者住宅品質検査技術者認定機構
Japan the Alternative Residential House Quality Inspector Accredited Association

JAQUA マンスリーレポート

■ 事務局からのお知らせ

7月の『JAQUA マンスリーレポート』は、コアー建築工房様、施工品質向上研修(3日目)、住まい夢ネット様施工品質向上研修(3日目)、旭建材様民法大改正に伴う施工品質管理対策セミナー(三重)、特集に、『施工方法の不備は住宅品質に大きく影響』をJAQUAとして考えて行きたいと思えます。

■ JAQUA 活動報告

【6月6日】

■ 施工品質向上研修3日目(大阪府)

株式会社 コアー建築工房施工品質向上研修(3日目)大阪府堺市に本社をおく株式会社コアー建築工房様の現場にて実施させていただきました。コアー建築工房様は『工務店ならではの風土を活かした設計・施工を、お施主様と二人三脚で、世界にひとつの家づくりを』をモットーにさらなる品質向上。1物件目は、基礎配筋完了時の現場の施工状態を確認。住宅建築スタートになる工程です。建築基準法でも特に基準の多い基礎配筋完了時です。かぶり厚さ、継手・定着長さ、補強筋の考え方等を中心に研修いたしました。ここでは、現場施工の納まり上で設計図書との相違が生じた部分が2020年の民法改正の契約不適合になる事を全員で確認し今後の現場での対応の在り方を考えました。2物件目は、外部防水で住宅瑕疵でも一番問題の多い工程になります。シートの重ね順、破れ、重ね幅、開口部廻りの処理、特に設備貫通部について重点的に行いました。原点に戻り水は上から下へ流れる当たり前の現象をふまえ、開口部廻りのシートの左右重ね方向等を全員で確認し基準の成り立ちを改めて再認識する場となりました。続いて内部断熱材完了時の現場の施工状態を確認。断熱材は施工を行う職方様によって大きく品質格差が出ます。留め付け方法、隙間、気流止め等細かく全員でチェックしていきました。施工手順による納め、隙間に関しては社内基準の見直し等の検討事項が出ました。施工品質向上には、公の基準を遵守するだけでなく、それ以外の社内基準及び材料の品質基準等も確認していく事を全員で確認しました。今回もまた、皆さんから沢山の質問が飛び出しコアー建築工房様の施工品質向上への取り組みが伝わりました。施工品質向上研修も第3日目を迎えいよいよ現場研修も次回で最後。次回の第4日目の研修もどのような施工品質への質問、こだわりがあるか楽しみです。



【研修風景1】



【研修風景2】

【6月11日】

■ 施工品質向上研修3日目(岡山県)

住まい夢ネット施工品質向上研修(第3日目)岡山県岡山市に本社を置く『暮らしのすべてをかたちづくる住まいの総合商社』株式会社ウッディワールドのぎき様の取り計らいにより、今回は株式会社おかやま住宅工房様の現場をお借りして実施させていただきました。今回の工程は、構造金物、外部防水、内部断熱材完了時です。住宅瑕疵の大半を占める漏水原因になる事象を中心に研修いたしました。外部では防水、通気について、内部では断熱欠損、気密の考え方について各社監督さんから積極的に質問、意見があり真剣に自社の今後に取り入れられないか考えられていた姿が印象的でした。又、おかやま住宅工房様の現場は敷地外から建物廻り、材料の養生までの整備に皆様感心されていました。現場提供して頂いた株式会社おかやま住宅工房様も皆さんの話を真剣にとらえ自社の向上の一つにされようとしていました。次回(第4日目)最終日となりますが、現場研修で上がった様々な意見を自社ととらえてどのような意見が出るか今から楽しみです。



【研修風景1】



【現場風景2】

【6月18日】

■ 民法大改正に伴う施工品質管理対策セミナー

6月18日 賛助会員であられます三重県の旭建材株式会社様主催にて「民法大改正に伴う施工・品質管理対策セミナー」の講師を務めさせていただきました。冒頭に旭建材株式会社の田中社長のご挨拶でスタート。事業者様(約30名)は積極的に受講され、質疑応答もあり施工品質、それに伴う教育育成への関心が強く伺わせるセミナーとなりました。セミナー終了後、研修開催の意向も出て7月より開催する運びとなりました。

■ 今月の特集：施工方法の不備は住宅品質に大きく影響

1 はじめに

冒頭に、6月18日の新潟、山形を中心とする地震により被災にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を果たされることをお祈りすると同時に被災された皆様が平穏な日々を取り戻せるようお祈り申し上げます。今回は、自然災害である地震等に於いて構造金物の施工方法の不備が建物に与える影響について考えていきたいと思います。

2 構造金物の釘の種類（抜粋）

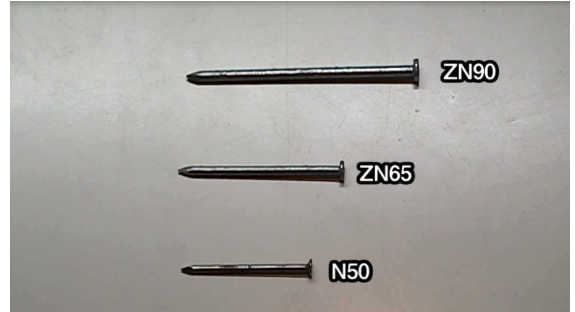
現在、木造住宅には金物メーカーより様々な金物が販売されている。その商品は実験データ等により性能、耐力を示し国の認可を受け実際の現場で使用されている。今回はその金物に使用される実際の釘について見たいと思います。釘と言っても様々な種類があります。形状や長さ等。写真1に一例として上からZN90、ZN65、N50となりご覧の通り長さ、太さが違う事がお解りになるかと思えます。当然、構造耐力等が違ってきます。しかしながら、現場では実際に各メーカーの施工要領書の指示と違う釘が金物に使用されているケースがあります。次項では実際のT型金物（柱と土台の接合部）の釘の違いによる実験結果をみていきたいと思います。

3 各メーカー施工要領書における施工の実験結果（参考）

今回は、柱と土台の接合部分に使用するT型金物についての実験結果を見て頂きたいと思えます。実験1では土台部分の金物に規定通りのZN65の釘を5本、実験2ではN50の釘を5本使用してメーカーが提示している外力に耐えられるか試験機にてかけ実験を行った。結果は見ての通りで実験1（規定通り）の施工では、土台に若干の割れは生じたものの現状を維持し期待通りの耐力を確保したのに対し実験2（規定外）では釘が抜け金物が湾曲し柱がホゾから抜けてしまっていることがご覧になられると思えます。

4 まとめ

上記の結果を見て頂ければ、一般の方でもいかに正しい施工が重要かお解りになるかと思えます。釘やビスについては、単に留めてあれば良いのではなく、各製品の規定が非常に重要になります。ここでは、金物だけの事例ですが、住宅一物件を施工するにあたって様々な金物施工基準があります。一つ間違えると実際の構造耐力が望めなく最悪場合、災害時に建物倒壊、そこに住まう人の命に係わる問題になります。住宅品質は丁寧な施工をするだけでは無く、正しい施工要領に基づいた施工する事が大切です。性能の高い材料を使用しても全く意味の無いものとなってしまいます。



【写真1】



【実験1（規定通り）】



【実験2（規定外）】

■ 新規賛助会員のご紹介 JAQUAの活動に共感頂き有難うございます。今後ともご協力宜しくお願い致します。

■ 株式会社エンクランプ <http://www.enclamp.com>

■ 新規JAQUA会員のご紹介

■ 山崎建設株式会社 <http://yamazaki-kk.net/index.php>

■ 株式会社アート・宙 <https://www.artsora.com/>

■ 有限会社北山建築 <http://yamazaki-kk.net/index.php>

今月の予定

- 7月4日 コアー建築工房施工品質向上研修4日目
- 7月9日 阪奈SW会民法改正セミナー
- 7月16日 住まい夢ネット施工品質向上研修4日目
- 7月17日 コアー建築工房施工品質向上研修5日目
- 7月23日 静岡木の家ネットワークセミナー



一般社団法人

日本第三者住宅品質検査技術者認定機構
Japan the Alternative Residential House Quality Inspector Accreditation Association

〒190-0003 東京都立川市栄町4丁目2番98号
TEL : 042-540-7870/FAX:042-540-7871
ホームページURL : <http://www.jaqua.or.jp>